

《ふりかえり もんだい4》

上と、下のことをせんでつないで、いみのおとる文にしよう。

① 妹を

・

・ 話を聞く。

② ベルが

・

・ とびかかってきた。

③ むかしの

・

・ 夕日がしずむ。

④ まっ赤な

・

・ 声が聞こえた。

⑤ 元気な

・

・ リンリンとなる。

⑥ 犬が

・

・ おんぶしてあげる。

つぎの文の―せんのことを、せつめいしているのは、どのことばですか。【れい】のように○でかこもう。

【れい】なおくんは、やさしい男の子です。

① すきまから つめたい 風が入ってきた。

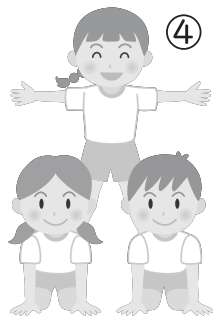
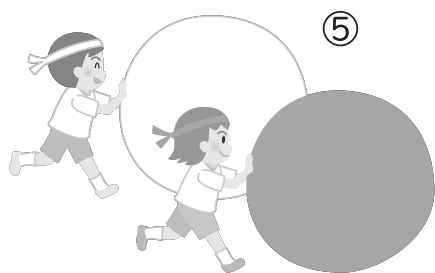
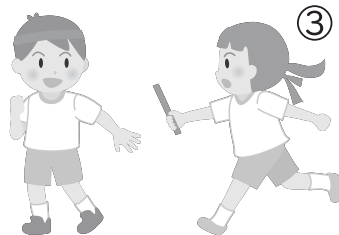
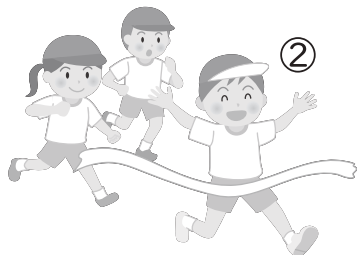
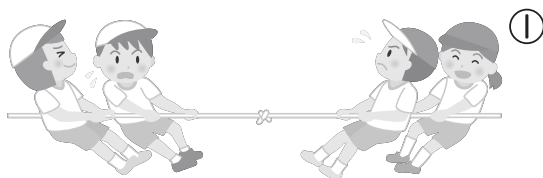
② 青い 空に、 白い くもが うかんでいる。

③ かれは たくましい 体つきをしている。

④ とつぜん おおぶりの 雨が ふってきた。

⑤ にわに きれいな 花が たくさん さいた。

うんどうかいのきょうぎの絵があります。それぞれ何という名前なまえのきょうぎでしょうか。下からおなじばんごうのきょうぎのせつめいをよんで、きょうぎの名前なまえをアからオからえらぼう。



① ふたつのチームが一本いっぽんのつなをおたがいのじん地ちにおかかって引き合ひあい、きょうぎ。

② 走るはしはやさをきょうぎ。かけくらべや、かけっこともいう。

③ だい一いちそうしやから、だい四よんそうしやまでの四人よにんで、バトンをわたしてつなぐきょうぎ。

④ なんめいかで力ちからをかし合あったり、ささえ合あったりしておこなうしゅうだんきょうぎ。

⑤ 大きな玉たまをころがしながらすすんで、ゴールまではこぶきょうぎ。

ア くみたいそう
ウ 大玉ころがし
オ きょうぎ
イ つな引ひき
エ リレー

上と、下のことをせんでつないで、いみのと
おる文にしよう。

① 太陽が ・ ごはんが食べたい。

② きのは ・ 空にうかんでいる。

③ 雲が ・ 声が聞こえてくる。

④ きれいな ・ ギラギラとまぶしい。

⑤ おいしい ・ いい天気だった。

⑥ げんきな ・ 花がさいている。

つぎの文の―せんのことを、せつめいしているのは、
どのことばですか。【れい】のように○でかこもう。

【れい】れいさんは、かわいい女の子です。

① おおかみは ふかい いどに おちて しまった。

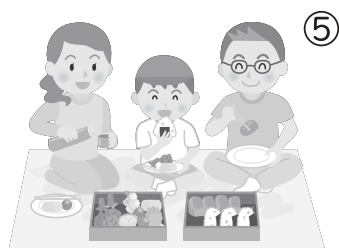
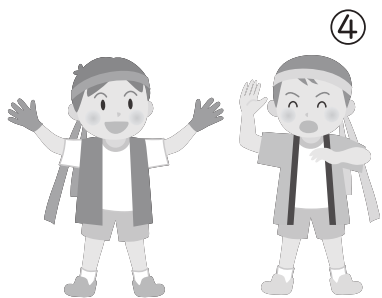
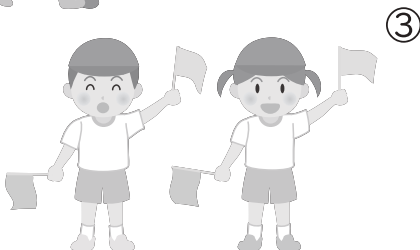
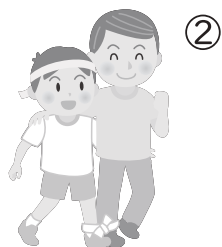
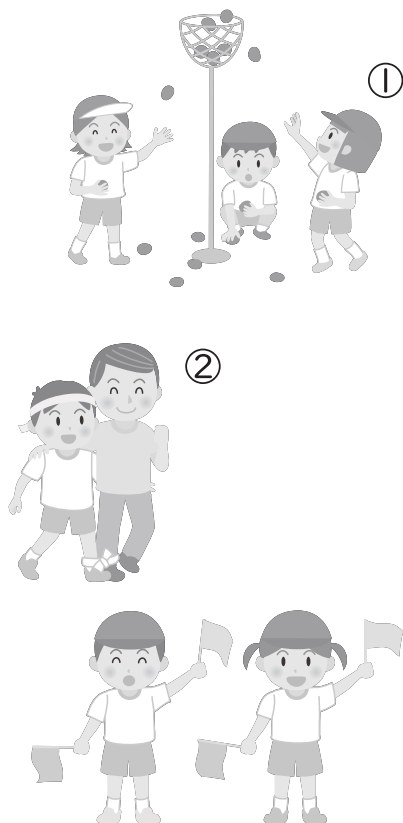
② おじさんの 家には ふるい 本が たくさん。

③ ありが、大きな 虫を せっせと はこんでる。

④ 青い 鳥が 大空を 高く とんでいる。

⑤ あの 家は、さんかくの やねが めじるしだ。

うんどうかいのきょうぎの絵があります。それぞれ何という名前のきょうぎでしょうか。下からおなじばんごうのきょうぎのせつめいをよんで、きょうぎの名前をアからオからえらぼう。



① はなれたばしよにあるかごに、お手玉やボールを
なげて、かずをきそうきょうぎ。

② 二人がならんで、となり合った足くびをむすび、
三本足にしてはしるきょうぎ。

③ 「赤、上げて」「白、上げて」のかけ声に合わせ
て、はたを上げ下げするきょうぎ。

④ おんがくやがっきのえんそう、うたやおどりに
あわせて、チームをおうえんするきょうぎ。

⑤ ごごのきょうぎに向けて、かぞくの人がつくって
くれたおべんとうを食べるおたのしみ。

ア 玉入れ
イ おべんとう
ウ はた上げ
エ 二人三きやく
オ おうえんがっせん

つぎの 文^{ぶん}しようによんでといに答^{こた}えよう。

キツネが、地面^{じめん}にながながとのびてねむっている大きなヘビを見^みました。「じつに長^{なが}くて、りっぱだなあ。おれもあのくらい長^{なが}いといいなあ。」と、キツネはた^①めいきをつきました。

そして、じ^②ぶんも をすれば長^{なが}くなるだろうと考^{かんが}えて、ヘビのとなり^③にねて、いっしょうけんめいに体^{からだ}をのばしました。うーん、うーんと、むりやり体^{からだ}をのばそうとしているうち「ビリッ」キツネの体^{からだ}はさけてしまいました。

「イソツプ童話^{どうわ}」

(一)ーせん①「ためいきをつきました」とありますがなぜですか。つぎのアからイからえらぼう。

- ア ヘビの長^{なが}い体^{からだ}がおそろしかったから
イ ヘビの長^{なが}い体^{からだ}にあこがれたから
ウ ヘビの長^{なが}い体^{からだ}がおもしろかったから

(2)ーせん②「じぶん」とは、だれのことですか。□の中^{なか}に名^な前^{まえ}を書^かこう。

(3) に入^{はい}ることばを、つぎのアからウからえらぼう。

- ア さかだち イ たいそう ウ のび

(4)「ビリッ」とは、何^{なに}がどうした音^{おと}ですか。□の中^{なか}に入^{はい}ることばを書^かこう。

の体^{からだ}が

音^{おと}

つぎの文^{ぶん}しようにをよんでといに答^{こた}えよう。

ある日^ひのことです。まどの外^{そと}をふと見^みると、とんがり山^{やま}のちようじようがきらきら光^{ひか}っています。

「あれ、なんだろう。きのうはあんなものなかつたのに。」たろうは、そう思^{おも}ったらいてもたってもいられなくなりました。さっそく、とんがり山^{やま}に行^いってたしかめてみることにしました。でも、お母^{かあ}さんから、「とんがり山^{やま}へはひとりで行^いってはいけませんよ。」と、言^いわれていたので、お母^{かあ}さんに見^みつからないように 家^{いえ}を出^でました。

(1) —せん①「あんなものなかつたのに。」とありますが、きのうまで何^{なに}がなかったのですか。
□の中^{なか}に入^{はい}ることばを書^かこう。

のちようじようで

光^{ひか}っているもの

(2) たろうはまどの外^{そと}を見^みたあと、どうすることにしましたか。□の中^{なか}に入^{はい}ることばを書^かこう。

さっそく、

に行^いって、

にし^した。

(3) —せん②「お母^{かあ}さんに見^みつからないよう」とありますが、どうしてお母^{かあ}さんに見^みつからないようにしたのですか。□の中^{なか}に入^{はい}ることばを書^かこう。

とんがり山^{やま}へは

いけな^いいと言^いわれていたから

(4) に入^{はい}ることばを、つぎのアからウからえらぼう。

ア ふらつと イ どたどた ウ そつと

つぎの文^{ぶん}しようにをよんでといに答^{こた}えよう。

たろうはとんがり山^{やま}の入り口^{ぐち}までやってきました。山^{①やま}のみちはうすぐらく、いまにもおばけが出てきそうです。たろうは、いつもお母^{かあ}さんが言^いっていることを思い出^{おも}しました。「とんがり山^{やま}へ子どもが一人^{ひとり}で行^いくとてんぐに食^たべられてしまうのよ。」いつもは、てんぐなんかいるもんかと思^{おも}っていました。入り口^{ぐち}にたってみるとだんだんこわくなってきました。「どうしよう。やっぱり、帰^{かえ}ろうかな。」たろうは、とんがり山^{やま}の入り口^{ぐち}をじっと見^みつめました。

(一)ーせん①「山^{やま}のみち」はどのようなようすでしたか。ふたつ考^{かんが}えよう。

(2)ーせん②「いつもお母^{かあ}さんが言^いっていること」とありますが、お母^{かあ}さんはいつもどんなことを言^いっているのですか。□の中^{なか}に入^{はい}ることを書^かこう。

へひとりで行^いくと

てんぐに

(3)ーせん③「やっぱり」とありますが、どうして、やっぱり帰^{かえ}ろうと思^{おも}ったのですか。□の中^{なか}に入^{はい}ることを書^かこう。

みると

だんだん

つぎの 文^{ぶん}しょうをよんでといに答^{こた}えよう。

タロは、きのうまでこの町^{まち}の小さなしよくどうで、おじさんから^①ごはんをもらっていました。店^{みせ}ののこりものですから、たっぷりではありませんでしたけれど、子犬^{こいぬ}のタロにはじゅうぶんでした。タロという名前^{なまえ}も、そのおじさんがつけてくれました。タロは、けさもいつものようにしよくどうに出^でかけていきました。ところが、店^{みせ}は戸^とがしまつてしんとしていました。タロは、うら口^②にまわつてみました。店^{みせ}が休み^{やす}の日^ひ、おじさんは、うら口にドッグフードのさらをおいてくれています。うら口^③に、さらはありました。でも、からっぽでした。ほかののら犬^{いぬ}が食^たべてしまったのでしょうか。タロは声^{こえ}をはりあげて、おじさんをよびました。でも、へんじはありません。「シッ」となり家のまどがあいて、女^{おんな}の人がタロをにらみつけました。タロは、おどろいてにげしました。

(1) タロという名前^{なまえ}は、だれがつけましたか。□の中^{なか}に書^かこう。

(2) —せん①「ごはんをもらっていました」とありますが、タロはふだんどんなごはんをもらっていましたか。□の中^{なか}に入^{はい}ることは書^かこう。

店の

(3) —せん②「うら口にまわってみました」とありますが、それはなぜですか。アからウからえらぼう。

ア ほかののら犬^{いぬ}がいて、ごはんを食^たべることできなかったから。

イ 店^{みせ}が休み^{やす}の日^ひには、おじさんはうら口^{ぐち}にごはんをおいておくから。

ウ いつも店のうら^{みせ}口^{ぐち}で、おじさんからごはんをもらって いるから。

(4) ―せん③「からっぽ」とありますが、何^{なに}がからっぽなのですか。じぶんのことばで書^かこう。

(5) お話^{はなし}のさいごにタロはおどろいてにげだしましたとありますが、それはなぜですか。じぶんのことばで書^かこう。

(6) もういちど、―せん①「ごはんをもらってしました」にちゅうもくしよう。このことから、タロがどんな犬^{いぬ}だとわかりますか。考^{かんが}えて書^かいてみよう。